

令和5年2月22日

保護者の皆様

湯河原町立湯河原小学校
校長 北村 和裕

令和4年度 学校評価アンケート集計結果

学校評価のアンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。『ほかほかな湯河原小を
目指して(児童用アンケート)』、『学校評価アンケート(保護者用)』の集計結果がまとまりましたの
でお知らせします。この結果を次年度の学校運営の改善に生かすべく、取り組んでまいります。

	「当てはまる」「だいたい当てはまる」 と回答した割合(%)	児童		保護者	
		前期	後期	前期	後期
1	進んであいさつをしていますか	92	93	86	85
2	温かな言葉をつかっていますか	86	88	90	94
3	掃除をがんばっていますか	93	96	86	94
4	粘り強く学習をしていますか	85	82	77	72
5	ICT機器を活用できていますか	95	95	71	88
6	進んで家庭学習にとりこんでいますか	79	81	65	67
7	手洗い、検温、体調チェックを毎日していますか	95	93	95	95
8	災害が起きた時、初期行動がとれていますか	91	95	86	89
9	早寝、早起きをし、朝ご飯をきちんと食べていますか	80	82	83	83
10	自分のいいところを知っていますか	69	68	86	85
11	友だちのいいところを知っていますか	93	96	95	98
12	学習で困ったとき「教えて」と言えますか	84	83	84	91

1 アンケート結果から

- ・質問1～2から、ほとんどの児童が進んであいさつを行い、温かな言葉を心掛け、思いやりの心をもっていることがわかります。児童会事務局が中心となり「自分から挨拶をしよう」という活動を行ったことも成果につながったと考えます。12%の児童は、思いやりが足りなかったかな、と自分の生活を振り返ったようです。
- ・質問3から、児童は高い意識を持って掃除に取り組んでいるようです。後期はさらに高まっています。
- ・質問4では、多くの児童が粘り強く学習をしている、と回答しています。一方保護者の方の回答はそれより10%ほど低く、児童の回答との差がみられます。質問6の回答についても同様です。学校での学習に対する取り組みの姿勢と、家庭での取り組みの姿勢に差があることが考えられます。
- ・質問5の保護者の回答が、前期から後期に大きく向上しました。学校の授業での活用はもちろん、夏休みなどに、タブレットPCを家庭に持ち帰り、家庭学習でもICTの活用を進めてきたことの成果が表れたのだと思われます。
- ・質問7～9について、学校、家庭における手洗いなどの新しい生活習慣が定着してきました。災害が起きたときの行動についても、高い意識がみられます。児童が自分で判断する力を養うため、避難訓練は児童への予告をしない形で行っています。その成果が表れていると考えます。
- ・質問10、11について、ほとんどの児童が、友だちのいいところを知っている、と答えている一方、自分のいいところを知っている、という質問では、肯定的回答が69%にとどまっています。それ以外は、なかなか自分を肯定的にとらえられない児童であると考えます。
- ・質問12では、ほとんどの児童は、学習でわからない時は「教えて」と言えているようですが、10人に1～2人の児童はわからなくても、自分から教えてもらうことがなかなかできず、そのままになっているのではないかと心配されます。

2 来年度に向けて

- 今後も望ましい集団づくりを目指し、互いの学び合いや、認め合いのある学級づくりや、なかよし班活動などの児童による主体的な活動を通して、豊かな心を育成します。
- 児童の思考に寄り添った、わかる・楽しい授業づくりを行い、児童の学びに向かう力を育てます。
- 児童や保護者が困ったときに、相談でき、一緒に考えていける学校を目指します。